

# 今月の安全運転管理

## ゆとりある「心」と「時間」に事故はなし

### ①年末年始に向けて交通事故防止対策を立てよう

- 感染症対策等、健康起因事故防止を徹底しよう
- 違反・事故実態を分析して重点項目を定めよう

### ②事業所を上げてエコドライブを推進しよう

- 地球環境保全、燃費節約、事故防止と一石三鳥



#### 感染症対策を講じて健康起因事故の防止を

例年、十一月から翌年二月にかけてインフルエンザが流行します。今年は新型コロナウイルスにも予断を許さない状況であることから、感染症対策を徹底してください。

感染症対策の基本は、手洗いとうがいです。外出後、食事の前後等、こまめな手洗いを心掛けてください。手洗い後にアルコールを含んだ消毒液で手を消毒することも効果的です。

また、飛沫感染等を防ぐために、咳・くしゃみをする際は、マスクやティッシュなどを使って口や鼻をおさえる咳エチケットにも取り組みましょう。

昨年十二月には、インフルエンザに感染した運転手が死亡追突事故を起こし、大きく報道されました。発熱、頭痛などの体調不良時は、集中力の低下や反応速度が遅くなることによ

り、歩行者等の発見の遅れや運転操作の誤り、判断ミス等につながるおそれがあります。

点呼の際には、検温に加え、従業員の顔色や応答の仕方をよく観察し、体調不良などが見られる場合は運転を控えさせましょう。

#### 違反事故の実態を分析して重点項目を明確にする

昨年の同時期から年末年始にかけての違反や事故を分析し、事業所としての事故防止重点項目を定めておきましょう。

例えば、昨年の年末年始に構内に入出入りする車両が増加したことで、構内事故が発生した事業所では、後退時の安全確認の徹底、構内走行速度制限の徹底等の構内ルールの遵守を重点項目に設定してください。

加えて、注意喚起標識の設置や、玄関・構内等での立哨活動といった取り組みを実施することで、安全確認を徹底させま

しょう。

#### 安全運転に繋がるエコドライブを推進しよう

十一月はエコドライブ推進月間です。エコドライブを実践することは、燃費向上や環境配慮への効果だけでなく、交通事故防止にも繋がります。

例えば、ふんわりアクセル「eスタート」を実践して穏やかで優しい発進を心掛けることで、燃費が約10%改善します。同時に、穏やかな発進は、安全運転にも繋がります。

また、走行時に「車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転」を心掛けることで、燃費が市街地で約1%、郊外で約6%改善します。同時に、適切な車間距離をとることは追突事故防止にもなります。

エコドライブ推進月間を機に、事業所ぐるみでエコドライブを積極的に推進してください。